

令和4年度神奈川ME-BYOリビングラボ 実証事業の評価（審査委員会評価）

1 実施事業者

日本美容創生株式会社

2 実証事業のテーマ

地域美容室における理学療法士の運動指導が更年期指数に与える変化-美容院で働く女性での検証

3 実証事業の評価

本実証事業は、美容院の顧客の替わりとして、美容院に勤務する女性美容スタッフ20名を対象に、理学療法士(PT)による運動指導と自宅での運動3週間を実施してもらい、更年期指数(SMI)の変化、セルフエフィカシー尺度(GSES)の変化について検証したもので、計画に沿って実施されたと評価できる。

実証の結果として、理学療法士による運動指導（施術）によって、その前後で、更年期指数(SMI)が有意な傾向（更年期指数の低下：症状の緩和）の可能性が示唆された。一方で運動指導前後の参加者のセルフエフィカシー尺度(GSES)については、有意な変化は無かった。今回の実証成果を踏まえ、参加者数を増やし、また、介入条件の異なるグループを用意し、群間比較による分析を行う事で、より統計学的評価を行う事を期待する。

本実証では、運動指導を受けた参加者からは、理学療法士（リハビリの有資格者）による専門的な運動指導に対し、好意的な反応とともに、運動メニューへの信頼の声が寄せられた。また、県内で理学療法士の活動を支援している理学療法士会からも、理学療法士の活動の場を広げる新たな取り組みとして、期待の声があった。なお、今回の実証に当たり、参加者への周知・募集や運動指導が可能な施設の確保などの影響で、実証期間が長期にわたってしまった経緯もあり、社会展開には、取り組みの周知・プロモーションと実施施設の規模やプライバシー配慮など社会実装に向けての運用面の課題も確認された。

今後に向けては、理学療法士による運動指導と女性の生活改善・更年期予防サービスの社会実装に向けて、実際のサービスモデルを考慮して、美容院の女性顧客を対象に美容現場で実証を目指してほしい。また、それらの取り組みを通じて具体的な顧客および店舗ニーズの把握と美容院環境での運動指導の手順や施術など、社会実装面の課題収集

を行うと同時に、ビジネスフィジビリティ（サービスの実現可能性）の評価を進め、女性の更年期緩和サービスの早期実現に期待する。

令和7年9月19日
神奈川ME-BYO リビングラボ審査委員会